

(2) 対馬藩主宗家墓所保存整備委員会環境整備部会（金石城跡）実施内容

第1回

日時：平成13年9月13日(木)

内容：発掘調査の成果及び課題、計画、保存修理工事の詳細について

第2回

日時：平成13年11月13日(火)～11月14日(水)

内容：発掘調査の成果及び課題、計画、保存・復元・整備の方針、手法について

第3回

日時：平成14年1月29日(火)～1月30日(水)

内容：発掘調査の成果及び課題、計画、保存修理工事の実施行程、技術について

第4回

日時：平成14年3月13日(木)～3月14日(金)

内容：発掘調査の成果及び課題、計画、保存修理工事の内容、技術について

第5回

日時：平成14年10月22日(火)～10月23日(水)

内容：発掘調査の成果及び課題、計画（調査箇所選定、排水路精査、築山及び新発見水路の取り扱い、調査終了年度）、保存修理工事の内容、技術（池底打ち工法、材料、景石据え直しの方法、施工業者、必要な記録内容及び方法、景石据え直しの終了年度、掲手門檻台石垣修復）について

第6回

日時：平成15年2月26日(水)

内容：発掘調査の成果及び課題、計画、保存修理工事の実施済み箇所及び内容、事業計画及び方針について

第7回

日時：平成15年6月18日(水)

内容：発掘調査の成果（遺構の時期、性格、絵図との関係）、保存修理工事（池底の工法）、事業計画について

第8回

日時：平成15年10月30日(木)

内容：発掘調査の成果（開渠水路石垣の構造、石垣端部、絵図に記載された井戸、池排水口）、今後の調査日程、保存修理工事、事業計画について

第9回

日時：平成16年2月13日(金)

内容：保存修理工事（施工状況、内容、日程）、次年度の計画（調査、工事）について

第10回

日時：平成16年11月10日(水)

内容：保存修理工事（排水工、導水工、礫敷き工、園路工、植栽、四阿・管理方法、景石積み直し、次年度の計画について

第11回

日時：平成17年2月9日(水)

内容：保存修理工事（四阿意匠、埋め堀・井戸の露出展示、放送施設、植栽、排水工、導水工、水位調整工、開渠水路石垣積み直し、池底打ち工、礫敷工、植栽、日程）、次年度の計画について

第12回

日時：平成17年12月15日(木)

内容：保存修理工事（搦手門檻石垣工、池底打ち工、礫敷工、植栽、日程、次年度工事の方針と内容
変更：構造物の設置、四阿と管理棟の分離とその位置及び機能、庭園外からの景観、防災無線移設、池への給水方法、入園料）、次年度の計画について

第13回

日時：平成18年9月12日(火)

内容：保存修理工事（庭園外園路の板石設置、庭園東側の人止柵、管理棟への重機進入に係る動線設計、排水路及び池端部のゴミ処理、排水路南西部の土砂流出防止としての植栽、搦手門から園路への植栽、竹垣、回転ゲート設計、門扉の構造、園路舗装の色調）、次年度の工事内容について

第14回

日時：平成19年1月12日(火)

内容：保存修理工事（庭園外園路の生け垣、庭園南西のイチョウ伐採、水路の排水パイプ処理、園内の松消毒、四阿の設置取り止め、工事車両進入を考慮した動線の耐久設計、グラウンドからの進入口の設計、庭園外からの視線遮蔽、水路の石橋、水路横の植栽手入れ、水位調整石板の調節、生け垣部分への四つ目垣追加、門扉の通常開放状態、管理棟の意匠、金石川沿いの遮蔽用植栽の種類）、次年度の計画（解説板設置の時期）、調査及び整備報告書の刊行、櫓門から庭園に至る公園部分の管理について

第15回

日時：平成20年3月11日(火)

内容：保存修理工事（工事施工状況の確認）、管理（チケット、パンフレットデザイン）、活用（オープニングイベント）、次年度計画について

第16回

日時：平成20年12月22日(月)

内容：保存修理工事（植栽、工事施工状況の確認）、管理運営状況、調査・整備報告書、次年度計画について

第17回

日時：平成21年11月18日(水)

内容：保存修理工事（工事施工状況の確認）、管理運営状況、次年度計画について

第4節 事業の概要

第1項 測量・設計監理

1. 測 量

平成11年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成12年1月20日～平成12年3月31日

業務内容：発掘調査成果状況の写真測量及び平面図化

平成12年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成13年1月30日～平成13年3月30日

業務内容：発掘調査成果状況の写真測量及び平面図化

業者名：株式会社 拓山測量 期間：平成13年1月31日～平成13年3月23日

業務内容：史跡指定地の測量及び平面図化

平成13年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成14年2月8日～平成14年3月29日

業務内容：発掘調査成果状況の写真測量及び平面図化

業者名：株式会社 拓山測量 期間：平成14年3月1日～平成14年3月18日

業務内容：史跡指定地の追加測量及び平面図修正

平成15年度

業者名：株式会社 埋蔵文化財サポートシステム 長崎支店

期間：平成15年9月1日～平成15年9月12日

業務内容：心字池範囲確認調査に伴う空中写真撮影

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成15年10月1日～平成16年2月25日

業務内容：発掘調査成果状況の写真測量及び平面図化

平成16年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成17年1月17日～平成17年3月25日

業務内容：発掘調査成果状況の写真測量及び平面図化

平成17年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成18年1月30日～平成18年3月24日

業務内容：搦手櫓台石垣修理工事にかかる写真測量及び図化

平成22年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成21年6月16日～平成22年1月21日

業務内容：整備工事完了成果状況における写真測量及び平面図化

2. 設計監理

平成12年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成13年1月4日～平成13年2月22日
業務内容：実施設計

平成13年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成13年8月1日～平成14年3月29日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成14年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成14年7月25日～平成15年3月20日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成15年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成15年10月1日～平成16年2月25日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成16年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成16年11月25日～平成17年3月30日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成17年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成17年8月8日～平成18年3月24日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成18年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成18年10月2日～平成19年3月31日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成19年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成19年7月23日～平成20年3月31日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成20年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成20年8月22日～平成21年3月27日
業務内容：実施設計及び工事監理

平成22年度

業者名：株式会社 空間文化開発機構 期間：平成21年6月16日～平成22年2月26日
業務内容：実施設計及び工事監理

第2項 工事施工

1. 平成10年度

業者名：有限会社 マルハ 期間：平成10年9月11日～平成10年10月29日

工事概要

工種	細目	数量	備考
土工	切土	580m ³	
	土砂運搬	620m ³	
	景石仮置き	1式	

2. 平成11年度

業者名：有限会社 マルハ 期間：平成11年10月19日～平成11年12月21日

工事概要

工種	細目	数量	備考
土工	切土	602m ³	
	景石仮置き	28.7m ³	

3. 平成12年度

業者名：有限会社 マルハ 期間：平成12年9月20日～平成12年12月15日

工事概要

工種	細目	数量	備考
土工	切土	663m ³	
	景石仮置き	24m ³	

業者名：根メ電気工事店

期間：平成13年3月9日～平成13年3月28日

工事概要（町単費）

工種	細目	数量	備考
電気設備工	高圧線配線	70m	
	高圧線架空	50m	

4. 平成13年度

業者名：有限会社 マルハ 期間：平成13年8月21日～平成13年12月18日

工事概要

工種	細目	数量	備考
土工	切土	680m ³	発掘調査箇所
	景石仮置き	52m ³	

5. 平成14年度

業者名：有限会社 STONE・MASON 期間：平成15年1月16日～平成15年3月26日

工事概要

工種	細目	数量	備考
土工	調査箇所埋戻	1式	水路3、トレント
石垣修理工	石垣解体	8.3m ²	石垣A、A'
	石垣積み直し	0.1m ³	石垣A、A'
	石垣補足積み	24.8m ²	石垣A、A'
礫敷工	礫採集	13,000個	
景石等据え直し工	景石据え直し	140石	
石材保存修復工		8石	石材接合、擬石処理

業者名：ムラセ設備 期間：平成14年6月17日～平成14年6月21日

工事概要（町単費）

工種	細目	数量	備考
給水工	散水栓移設	1式	

業者名：根々電気工事店 期間：平成15年2月10日～平成15年2月20日

工事概要（町単費）

工種	細目	数量	備考
電気設備工	引込柱移設	1式	

6. 平成15年度

業者名：有限会社 権工 期間：平成15年11月28日～平成16年2月25日

工事概要

工種	細目	数量	備考
土工	盛土	737m ³	不織布 t = 2.0 305m ²
	切土	864m ³	
石垣修理工	石垣積み直し	2.5m ²	石垣A、C
	石垣補足積み	9 m ³	石垣A、C
水路修理工	水路解体	6 m ³	水路1、水路2
	水路積み直し	45.3m ³	水路1、水路2
	水路補足積み	3 m ³	水路1、水路2
景石等据え直し工	景石据え直し	143石	
池底打ち工	池底打ち	218m ³	厚5cm: 202m ³ 、厚30cm: 16m ³
	防水シート t = 1.5	13.8m ²	トレント箇所
礫敷工	礫採集	1 m ³	
	礫敷	75m ²	
法面保護工	植生マット	385m ²	
撤去工等		1式	埋設構造物、伐木

7. 平成16年度

業者名：有限会社 権工 期間：平成17年2月2日～平成17年3月30日

工事概要

工種	細目	数量	備考
土工	盛土	217m ³	
	切土	366m ³	
	調査箇所埋戻	17.5m ³	
石垣修理工	石垣解体積み直し	22.2m ³	石垣A、B、D、E、F、G
水路修理工	水路解体	4.5m ³	水路1、水路2
	水路積み直し	43.9m ³	水路1、水路2
景石等据え直し工	景石据え直し	11石	
	延石据え直し	20石	
池底打ち工	池底打ち	265m ²	厚5cm
礫敷工	防草シート	400m ²	
	礫敷	516m ²	
雨水排水工	石積水路	34m	
	型側溝	31.7m	U300B、コンクリート溝蓋
	暗渠管 VP300	15.5m	
	暗渠管 ϕ 150	5m	波状管
	集水樹	2基	600×200、プレキャスト450角
植栽工	高木	13本	表9 導入植栽一覧表参照
	張芝	305m ²	
	コグマザサ	15,515株	44本/m ² 352.6m ²
	ヤブラン	48m ²	
撤去工等		1式	ブロック積擁壁、コンクリート製階段

8. 平成17年度

(1) 植栽工事

業者名：大畑一草園 期間：平成17年11月2日～平成18年3月15日

工事概要：

工種	細目	数量	備考
土工	盛土	20m ³	
礫敷工	礫敷	60m ²	
植栽工	高木	41本	表9 導入植栽一覧表参照
	中木	86本	表9 導入植栽一覧表参照
	張芝	316m ²	
	コグマザサ	11,647株	44本/m ² 264.7m ²
	四つ目垣	66.9m	H=1,200
	移植	4本	表9 導入植栽一覧表参照
	根切板	76m	
		1式	除草

(2) 石垣工事（搦手門櫓台石垣）

業者名：株式会社 今村組 期間：平成18年2月6日～平成18年3月24日

工事概要：

工種	細目	数量	備考
石垣修理工	石垣解体	17m ²	搦手門櫓台石垣
	石垣積み直し	26.9m ²	搦手門櫓台石垣
	石垣補足積み	16m ²	搦手門櫓台石垣
	石垣角石	3石	搦手門櫓台石垣
園路広場工	板石据付	25石	
	切土整地	0.2m ³	
	盛土整地	15m ³	
法面保護工	法面整形	47.1m ²	石材据付19m、暗渠管φ100:10m
撤去工等	撤去工	1式	伐根

9. 平成18年度

(1) 土木工事

業者名：有限会社 鎌田建設 期間：平成18年12月25日～平成19年3月31日

工事概要

工種	細目	数量	備考
水路修理工	石垣解体	2.2m ²	水路4
	石垣積み直し	2.2m ²	水路4
	石垣補足積み	14m ²	水路4
	栗石敷	2 m ²	水路4
景石等据え直し工	延石据え直し	4石	
雨水排水工	コルゲートフリューム	90m	450×450
	石組水路	1式	
	暗渠管 VP150	5.7m	
園路広場工	砂利敷	151m ²	t = 50
	板石据付	235石	
	腰石積	5 m	
管理施設工	回転ゲート	1基	
法面保護工	法面整形	5.9m ²	石材据付: 5.6m、暗渠管φ100: 3.8m
植栽工	張芝	8.6m ²	
撤去工等	撤去工	1式	土のう撤去

(2) 建築工事

業者名：有限会社 豊田組 期間：平成19年1月17日～平成19年3月31日

工事概要

工種	細目	数量	備考
管理施設工	門扉	2基	門扉A、門扉B
	遮蔽垣	30m	H=1,800

(3) 植栽工事

業者名：株式会社 大浦水道土木 期間：平成19年1月22日～平成19年3月31日

工事概要

工種	細目	数量	備考
植栽工	中木	209本	表9 導入植栽一覧表参照
	低木	286本	表9 導入植栽一覧表参照
	張芝	273.7m ²	
	コグマザサ	2,504株	44株/m ² 56.9m ²
	移植	4本	表9 導入植栽一覧表参照
	四つ目垣	43m	H=1,200
	竹矢來	15m	H=1,000:10m, H=1,800:5m

10. 平成19年度

(1) 造園工事

業者名：上野建設 期間：平成19年12月5日～平成20年3月25日

工事概要

工種	細目	数量	備考
雨水排水工	暗渠管	88m	Φ100
園路広場工	土舗装	316m ²	t=100
管理施設工	人止柵	3基	
	進入防止柵	107m	H=500
学習施設工	誘導サイン	1基	400×200
植栽工	中木	4本	表9 導入植栽一覧表参照
	張芝	318m ²	
	四つ目垣	4m	H=1,200
	竹矢來	3.5m	H=1,800

(2) 建築工事

業者名：株式会社 勝栄建設 期間：平成20年1月18日～平成20年3月31日

工事概要

工種	細目	数量	備考
管理棟建築工	管理棟	1棟	木造平屋

11. 平成20年度

業者名：有限会社 西山建設 期間：平成20年10月22日～平成21年1月19日

工事概要

工種	細目	数量	備考
学習施設工	案内板	1基	1,200×900

12. 平成21年度

業者名：有限会社 中部緑化土木 期間：平成21年10月20日～平成22年2月28日

工事概要

工種	細目	数量	備考
植栽工	中木	12本	表9 導入植栽一覧表参照

第3項 事業費

単位：円

	平成0年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	合計
土工	2,688,000	2,733,750	2,520,000	2,630,000	181,800	4,750,000	216,800							15,690,350
石垣修理工					1,430,000	760,000	978,000	6,556,000	30,000					9,754,000
水路修理工						1,900,000	1,431,000		1,925,000					5,256,000
景石等點丈直工					6,486,000	8,960,000	2,501,000		457,000					18,394,000
石材保存修理工					8,663,000									8,663,000
池底打ち工						1,720,000	948,000							2,668,000
礫版工					770,000	570,000	2,710,000	592,500						4,552,500
雨水排水工							1,203,000		917,000	46,000				2,166,000
樹路広場工								831,300	2,570,000	256,000				3,657,300
管理施設工									4,440,450	735,000				5,175,450
管理機運繕工										4,838,400				4,838,400
学習施設工										24,000	466,200			490,200
植栽工						6,818,000	14,180,150	3,371,000	438,400		194,250			25,001,800
法面保護工						820,000		289,000	62,500					1,171,500
電気設備工					972,300	76,650								1,048,950
給水工						21,000								21,000
撤去工						1,930,000	725,000	524,800	65,000					2,824,800
小計	2,688,000	2,703,750	3,492,300	2,630,000	17,628,450	21,000,000	17,530,800	22,863,750	13,837,950	6,337,800	466,200	194,250		111,373,250
実施設計・監理					262,500	1,470,000	4,102,350	3,397,800	2,887,500	2,625,000	1,396,500	208,950	98,700	210,000
測量					1,785,000	7,560,000	2,346,750		2,362,500	1,071,000	1,428,000			866,250
調査								188,000						188,000
設計・報告書作成														462,000
小計	1,785,000	7,822,500	3,816,750	4,102,350	5,949,300	3,958,500	4,053,000	1,396,500	208,950	98,700				462,000
合計	2,688,000	4,488,750	11,314,800	6,446,750	23,730,800	26,949,300	21,489,300	26,916,750	15,234,450	6,546,750	564,900	194,250	1,538,250	146,103,050

表1 事業費

第5節 整備工事各説

整備に当たり、復元に伴う造形は一貫して中村委員が監修した。

第1項 土工事（図8～9）

文化財庭園としての名勝指定を念頭におき、可能な限り遺構レベルに近く整備レベルを設定した。ただし、池底や残存する礫敷部は、整備後の浚渫時に遺構を損傷しないよう5cm程度の保護層を設けたこととした。周辺にはグラウンド、体育館といった既存施設や金石城跡の櫓門跡の遺構があるため、これら諸施設等の関係上自然な形でりつくよう造成するものとした。また、維持管理上、人止柵や案内板の設置、並びに植栽を施す必要があるため、周辺部においては遺構面の30cm～50cm上に整備レベルを設定した。発掘調査箇所は必要に応じ埋め戻した。

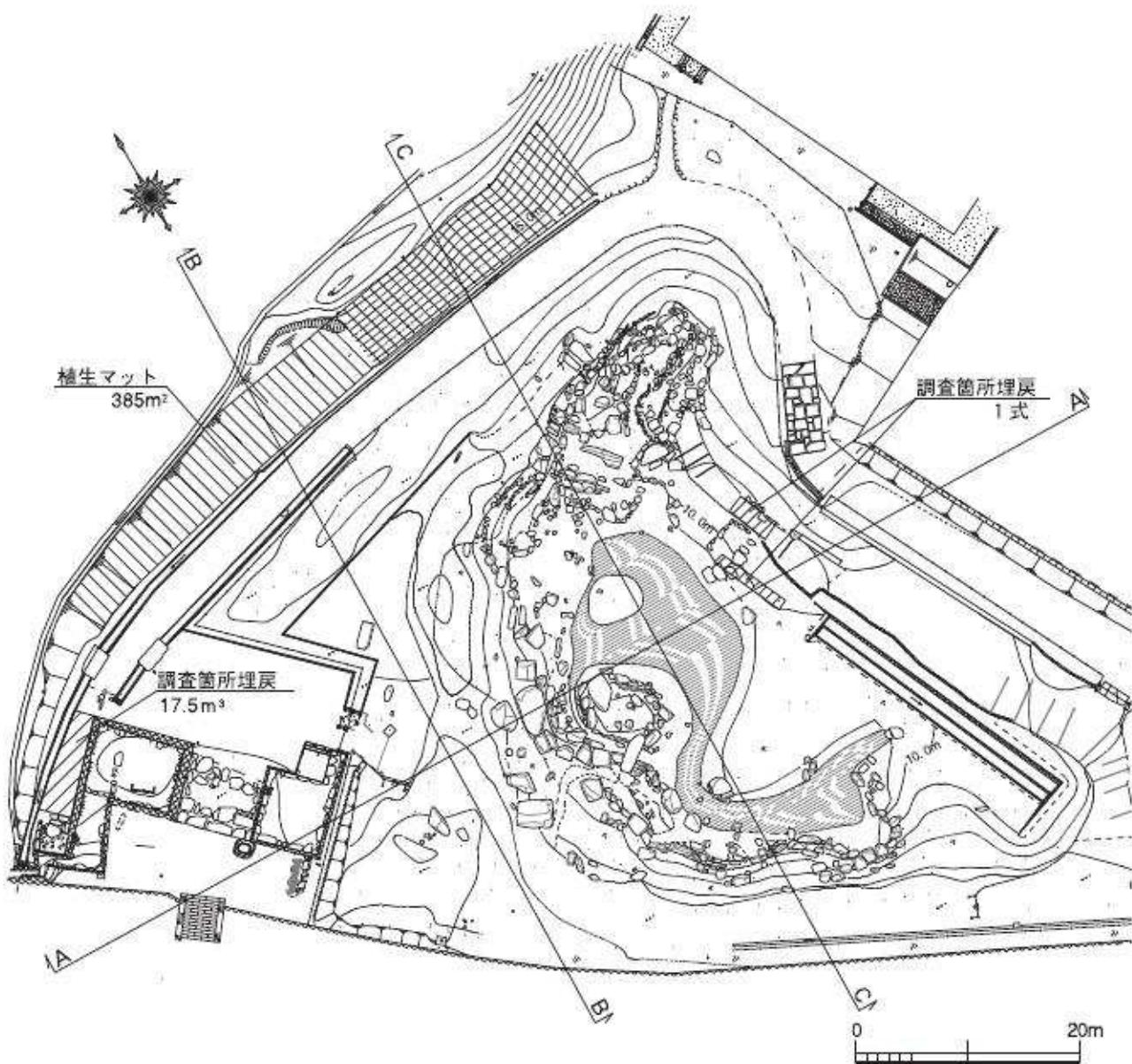


図8 造成箇所図 (S=1/600)

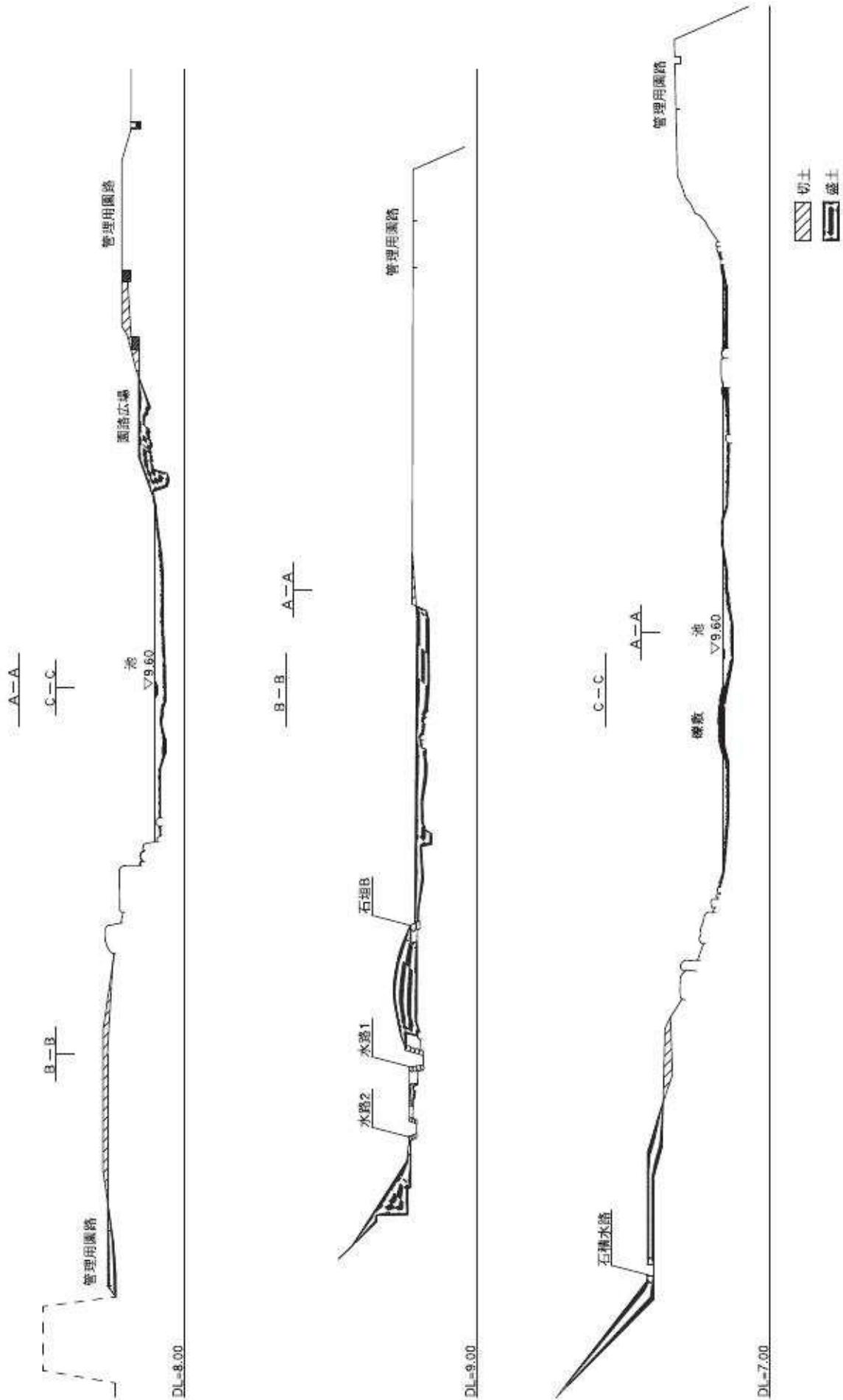


図9 造成断面図 (S=1/400)

第2項 石垣修理工事・水路修理工事（図10～18）

西側や東側に遺構としての石垣があるが、これら石垣は崩落（危険個所含む）及び欠損部分を補足石材等を用いて解体修理した。また、南西部にある搦手門の檣台石垣も修理した。石垣修復工事及び水路修理工事は以下の工事仕様に従った。

(1) 準備工

<遣方>

- ①基準は国土座標値による。
- ②工事用基準と発掘作業基準との整合性、精度の保持に留意する。
- ③遣方は発掘調査資料、石垣測量図（実測図）等を参考にしながら、設計主旨に従って監督職員立会のもとに施工する。
- ④遣方は工事中絶えず確認し、正確に保持する。

(2) 仮設工

<足場並びに重機据え付け箇所等仮設工>

- ①工事では石垣前面へ石垣崩落防止を兼ねた土のう積みにより仮設足場を設置する。請負者は事前に施工図を作成の上、監督職員の承認を得る。なお、設置に際し監督職員の指示に従って必要な養生を行う。
- ②工事においては重機（ミニクローラクレーン）や三股の使用が想定されるが、請負者は事前に使用重機等のリスト、設置箇所図等を提出し、監督職員の承認を得る。なお、設置に際し監督職員の指示に従って必要な養生を行う。
- ③工事休止となる前日には安全点検を入念に行い、工事休止日においても問題が生じないように細心の注意を払う。
- ④工事終了後に撤去するが、原地盤面、石垣等の損傷を起こさないように細心の注意を払う。
- ⑤残材の処分については、監督職員の指示に従い適切に処分する。

(3) 解体工

<準備工>

- ①既存の石垣をあらかじめホウキ・ハケ等で土砂・塵芥等を取り払い、入念に清掃を行う。
- ②別途支給する実測図に対応して既存石垣石材表面に番号を付し、粗積みの目安とするため、石と石の接点に小さく印を入れ写真撮影する。番付・印は石垣前面部に消去可能な石灰塗料等を用いて、控え部分には墨書にて入れる。また、縦横50cm間隔に墨打ちし、写真及び実測図を記録する。
- ③割れたものや解体作業時に割れる恐れのあるものについては、事前に型紙を作つておく。

<土砂除去工>

- ①石垣前面に土砂が堆積している箇所がある場合、石垣が崩落するがないよう崩落防止措置を取った上で土砂を除去する。
- ②除去時に埋蔵遺物等が発見された場合は、直ちに工事を止めて監督職員に連絡する。

<石垣解体工>

- ①解体範囲については、設計主旨に従い現場において監督職員立会の上で決定する。
- ②石垣解体に際しては、別途支給する実測図と対応する石の表面に同一の番号が記入してあることをあらかじめ確認する。
- ③解体中に適宜監督職員が実測図を作成又は写真を撮影する場合は、監督職員の指示に従って作業を中断する。
- ④解体中は各段を取り外すごとに記録写真を撮り、石材の据え付け状況、特に飼石等の施工状況を記録しておく。また、石垣石材は1石ずつ縦・横・控長・重さを計測し、石質と共に記録しておく。
- ⑤解体中に割れた石や風化の著しい石材については、監督職員立会の上、再利用又は取り替えの区別を行う。再利用不能と判断されたものは裏込め石材等に転用する。
- ⑥解体した石垣石材は解体箇所ごとに収集し、監督職員の指示により輪木等を設け直接地盤に接しない様に仮置きする。
- ⑦石材保管については十分な養生を行うと共に、積み直しの際に混乱することのないように整理保管する。
- ⑧飼石についてもその位置を記号等で管理し、築石・栗石等と混合しないよう整理する。
- ⑨栗石はていねいに洗浄し、極力再利用する。また、土砂等と分離して整理保管する。
- ⑩石の取り外し、吊り上げ、運搬整理などの作業は慎重に行い、欠損・欠失等のないよう注意する。
- ⑪解体工事途中に埋蔵遺物等が発見された場合には直ちに工事を止め、監督職員に連絡する。

(4) 積み直し工

<石垣積み直し工>

- ①補足する石材（築石・飼石・栗石を含む）は、原則として既存石材と同種のものを用いる。あらかじめ見本品を提出し、監督職員の承認を得る。
- ②石垣表面に現れる石肌は、自然面または割面とするが、周囲の状況に合わせ、監督職員の指示に従って選択すること。ノミ加工等は行わない。
- ③補足石材の見隠れ部分に墨により「平成〇」と明示する。書き入れ箇所は石表面をよく清掃・洗浄し、充分乾燥した後、墨書きし、墨が乾いたことを確認した上で積み上げる。
- ④積み直しを行う石垣と積み直しを行わない石垣とを区別するため両者の石垣の間に、目立たぬよう鉛板を布設する。
- ⑤解体箇所の石垣は、解体工事に関わった石工を常時配置し、解体時の状況（実測図・解体前の写真・墨打ち等を参考とする）、監督職員の指示等に基づいて実測図に記載した番付に従って行う。
- ⑥新たに補足復元する箇所の石垣は、先に施工図の承認を得た後、施工図等をもとに石工・監督職員と入念に打ち合わせた上、施工する。
- ⑦石垣の勾配及び天端レベルについては、設計主旨に従い丁張りを実施し、監督職員立会いの上、決定する。
- ⑧石垣は、「築石の据付→塊盤石（胴飼石または鱗飼石）による勾配の調整→飼石・胴込栗石の充填→裏込め栗石の敷均し・転圧」の工程を数回に分けて繰り返すが、1回毎の積み上げ高については、

監督職員の指示による。

- ⑨石垣の裏込め幅は、遺構裏込め幅と同じ控え幅とするが、遺構の控え幅が極端に少ない場合は監督職員と協議の上、施工方法を決定する。
- ⑩工事施工中、石垣にハラミ・ズレ等の恐れが生じた際は直ちに工事を中止し、監督職員の指示を仰ぐこと。
- ⑪施工時に付した番付は竣工後完全に消去する。

(5) 養生工

- ①石垣解体後地盤の崩壊を起こさないようビニールシート等を用いて安全の確保を図るものである。
- ②施工範囲については監督職員立会のもとに決定し、使用する材料については予め監督職員にサンプルないしカタログ等を提出し、承認を得る。

(6) その他

- ①石垣解体作業中に行う発掘調査が停滞なく進捗するよう、工程・人員の配置について監督職員と十分に協議を重ねること。
- ②工事施工に際し、その他の不明な点または図面・仕様書で判断のつかない場合は、監督職員の指示を受ける。

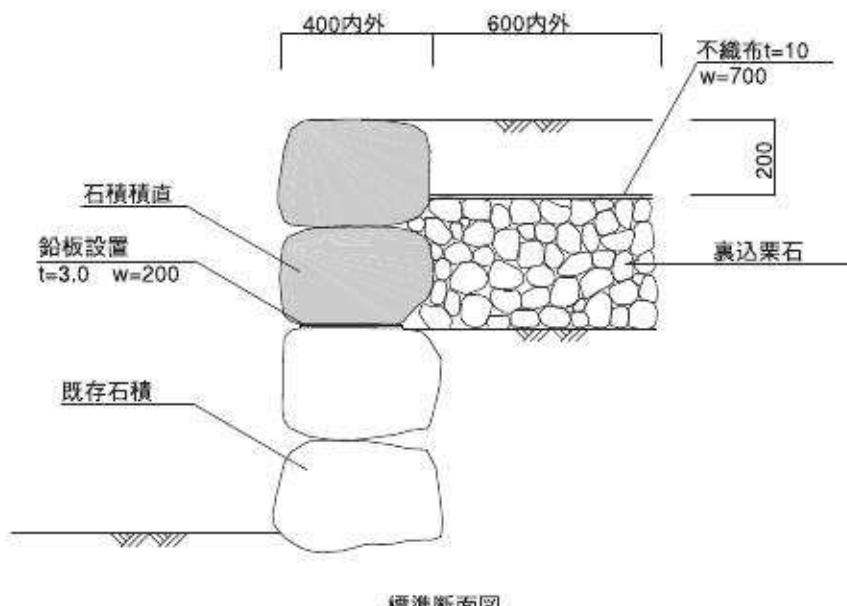


図10 石垣・水路詳細図 (S=1/600) (mm)

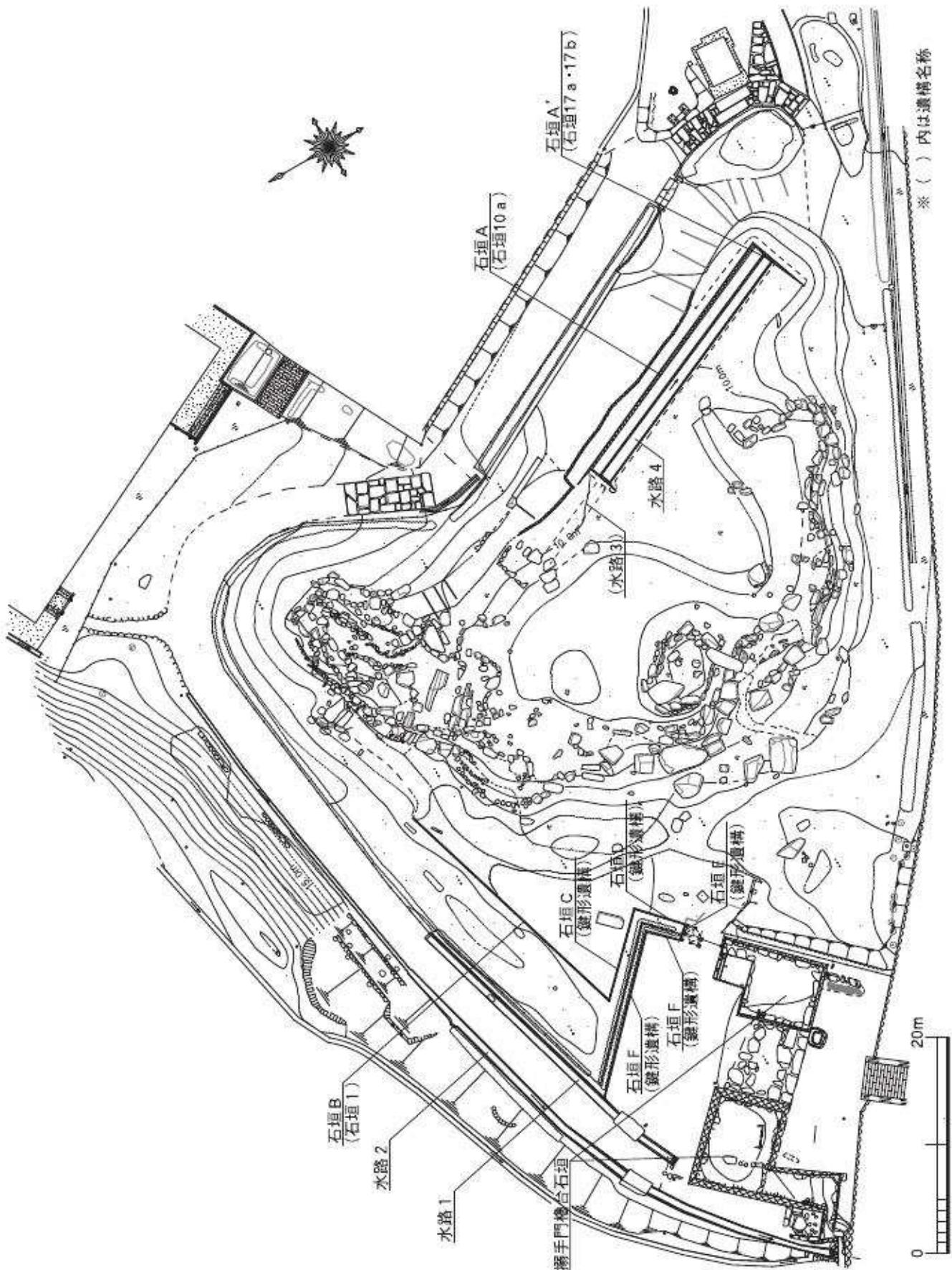


図11 石垣・水路修理箇所図 (S=1/600)

石垣A～G

	石垣解体(m ³)	石垣積み直し(m ³)	石垣補足積(m ³)	鉛板設置(m)
石垣A, A'	8.34	0.14	32.92	11.70
石垣B	—	5.29	3.62	14.30
石垣C	—	1.47	5.38	9.00
石垣D	—	1.72	—	5.00
石垣E	—	0.85	—	3.10
石垣F	—	0.94	—	4.20
石垣G	—	6.29	—	17.50
合計	8.34	16.70	41.92	64.80

搦手門櫓台石垣

	石垣解体(m ³)	石垣積み直し(m ³)	石垣補足積(m ³)	鉛板設置(m)	間詰石(m ³)
No.1	0.75	0.35	—	0.72	—
No.2	1.23	1.23	0.91	2.80	—
No.3	10.46	9.80	—	10.30	—
No.4	3.45	0.53	3.54	3.73	—
No.5	—	—	—	—	0.29
No.6	0.10	0.10	—	—	—
No.7	0.14	0.14	—	—	0.35
No.8	0.59	0.59	5.48	6.59	—
No.9	—	—	5.61	4.45	—
No.10	0.56	1.16	1.30	4.27	—
No.11	—	—	2.88	8.73	—
No.12	0.31	0.31	6.45	0.92	—
合計	17.59	14.21	26.17	42.51	0.64

表2 石垣修理工数量表

	石垣解体(m ³)	石垣積み直し(m ³)	石垣補足積(m ³)	鉛板設置(m)
水路1	0.03	33.84	2.10	45.80
水路2	10.58	59.71	0.90	80.80
水路4	2.23	2.23	14.00	48.40
合計	12.84	95.78	17.00	175.00

表3 水路修理工数量表

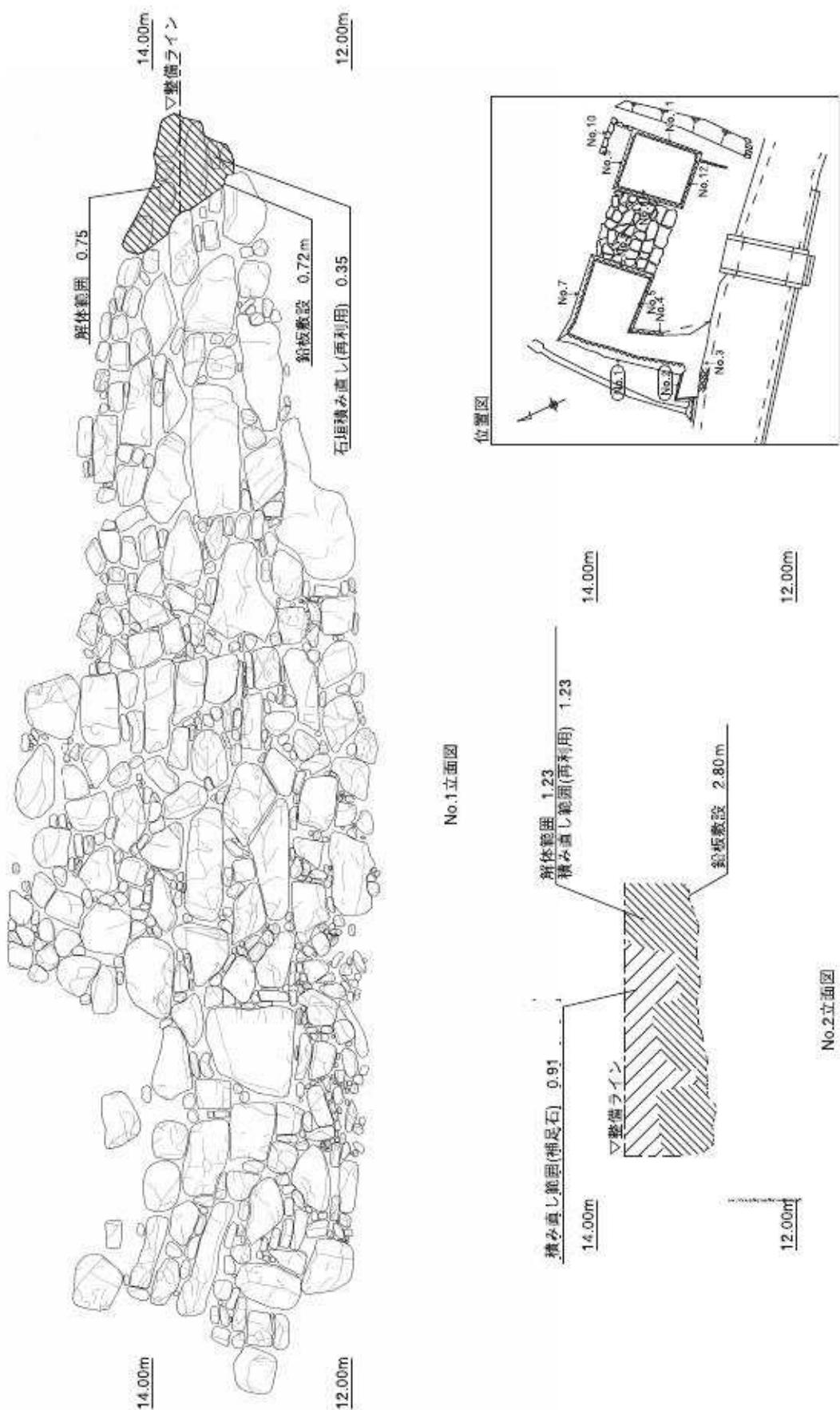


図12 捩手門檻台石垣修理図1 (S=1/60)

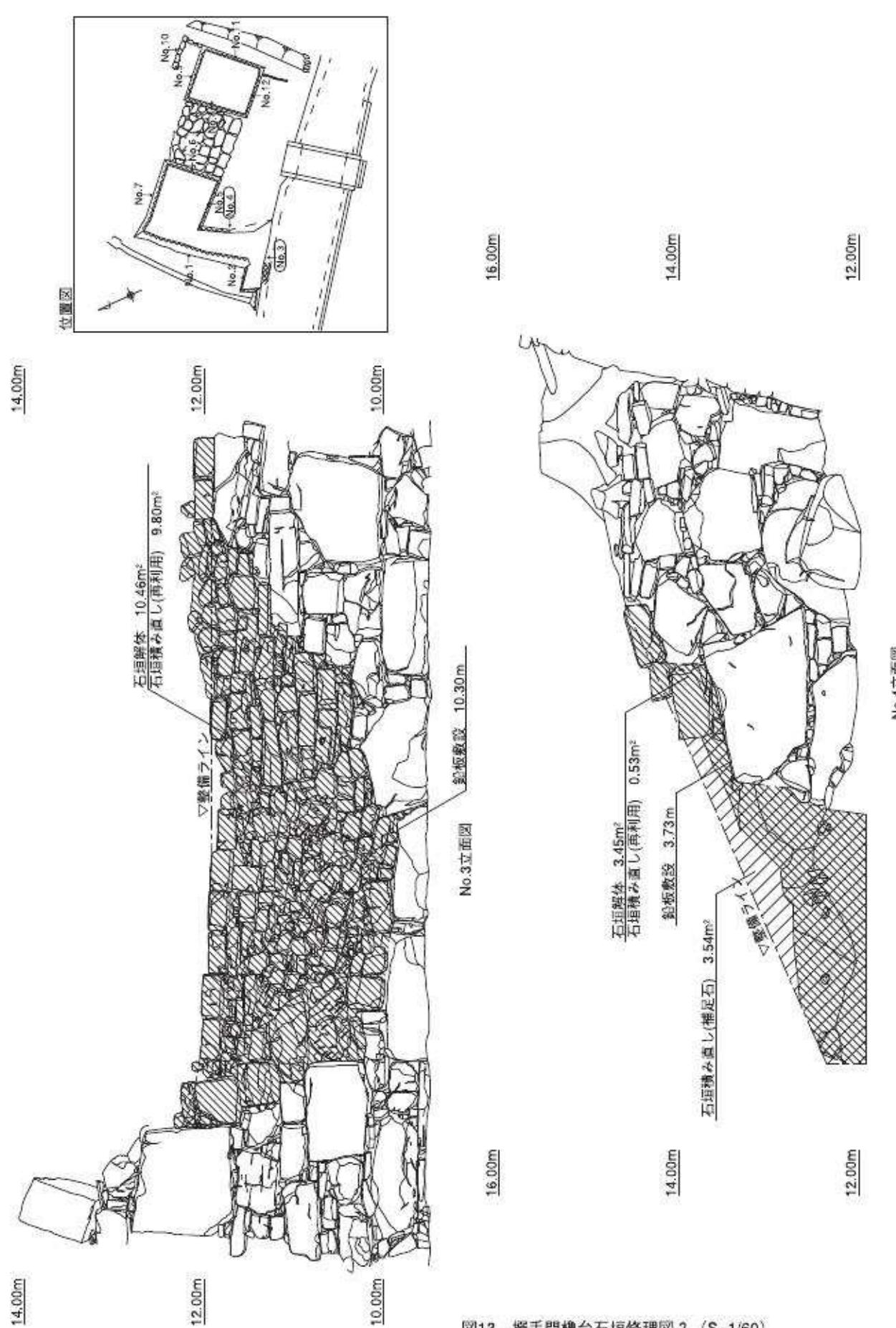


図13 撫手門櫓台石垣修理図 2 (S=1/60)

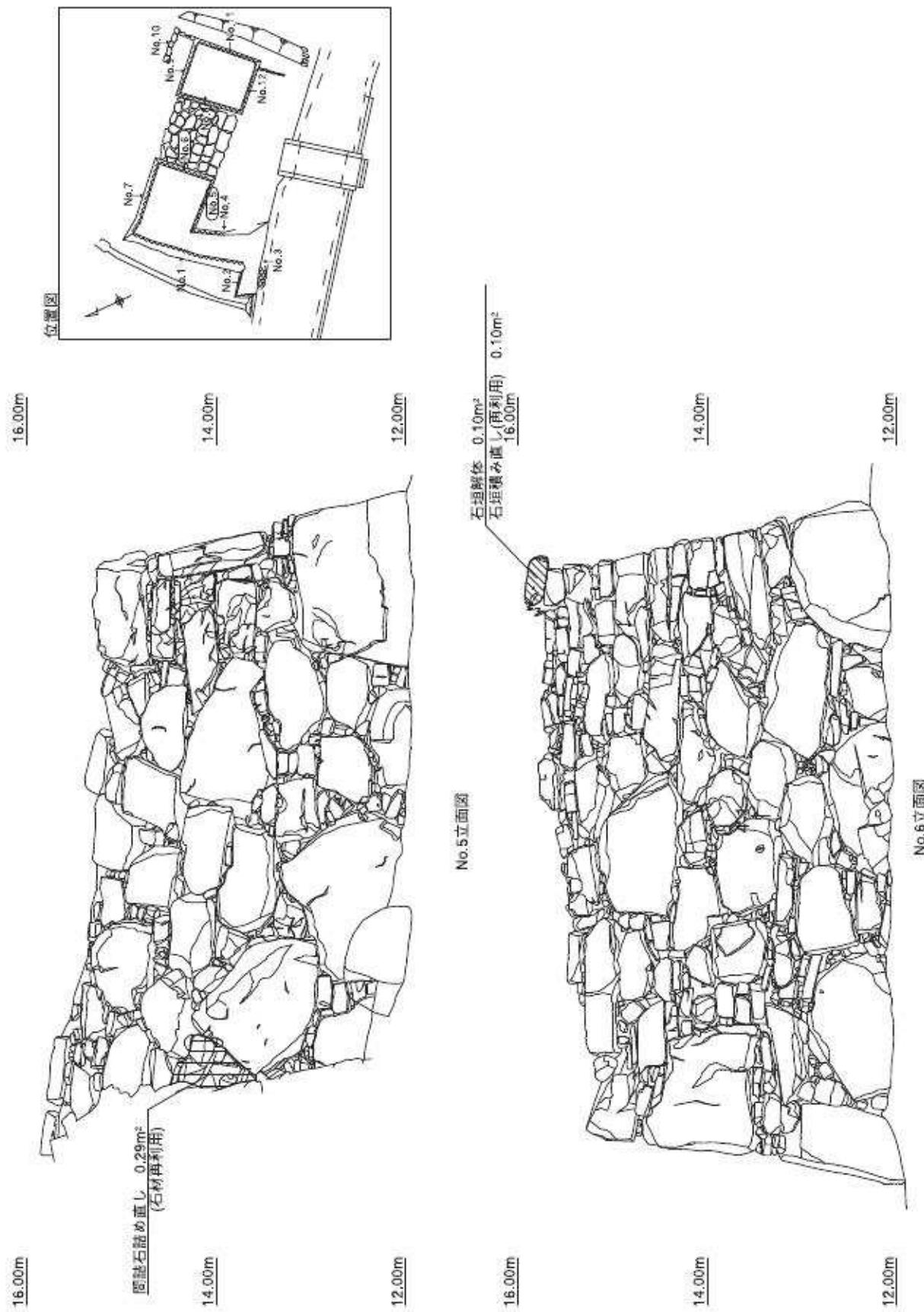


図14 梶手門櫓台石垣修理図 3 (S=1/60)

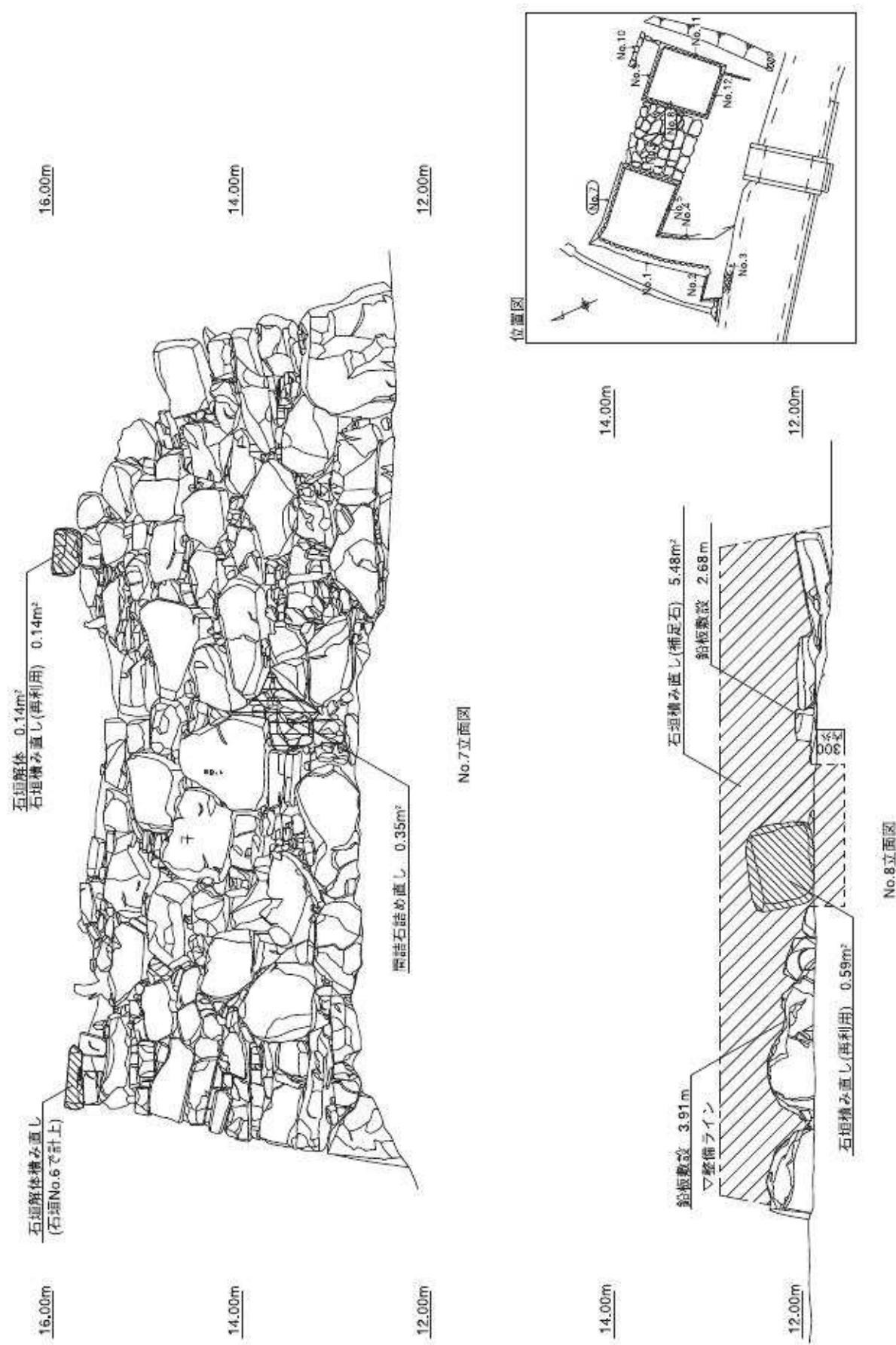
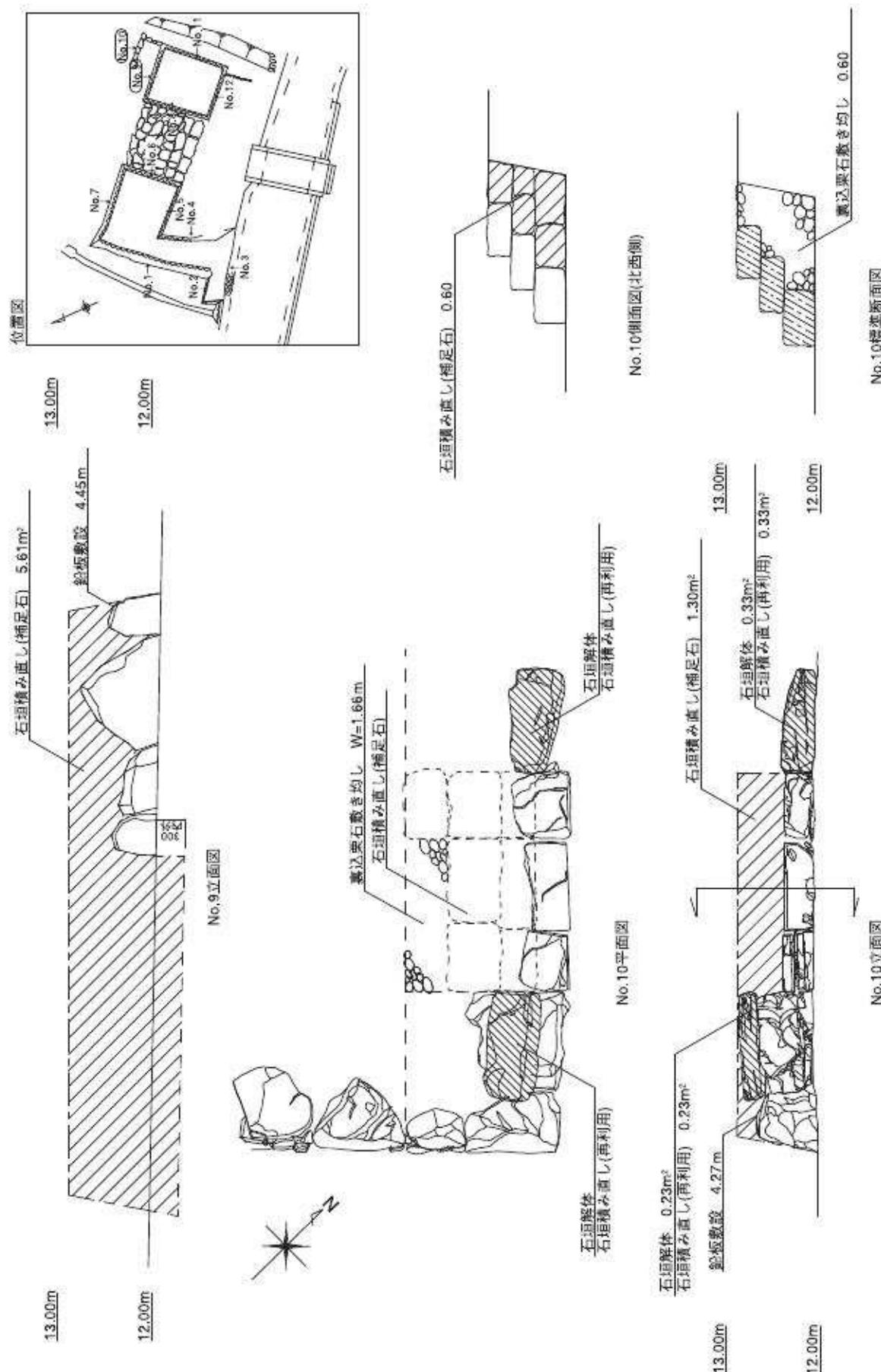


図15 橋手門櫓台石垣修理図 4 (S=1/60)



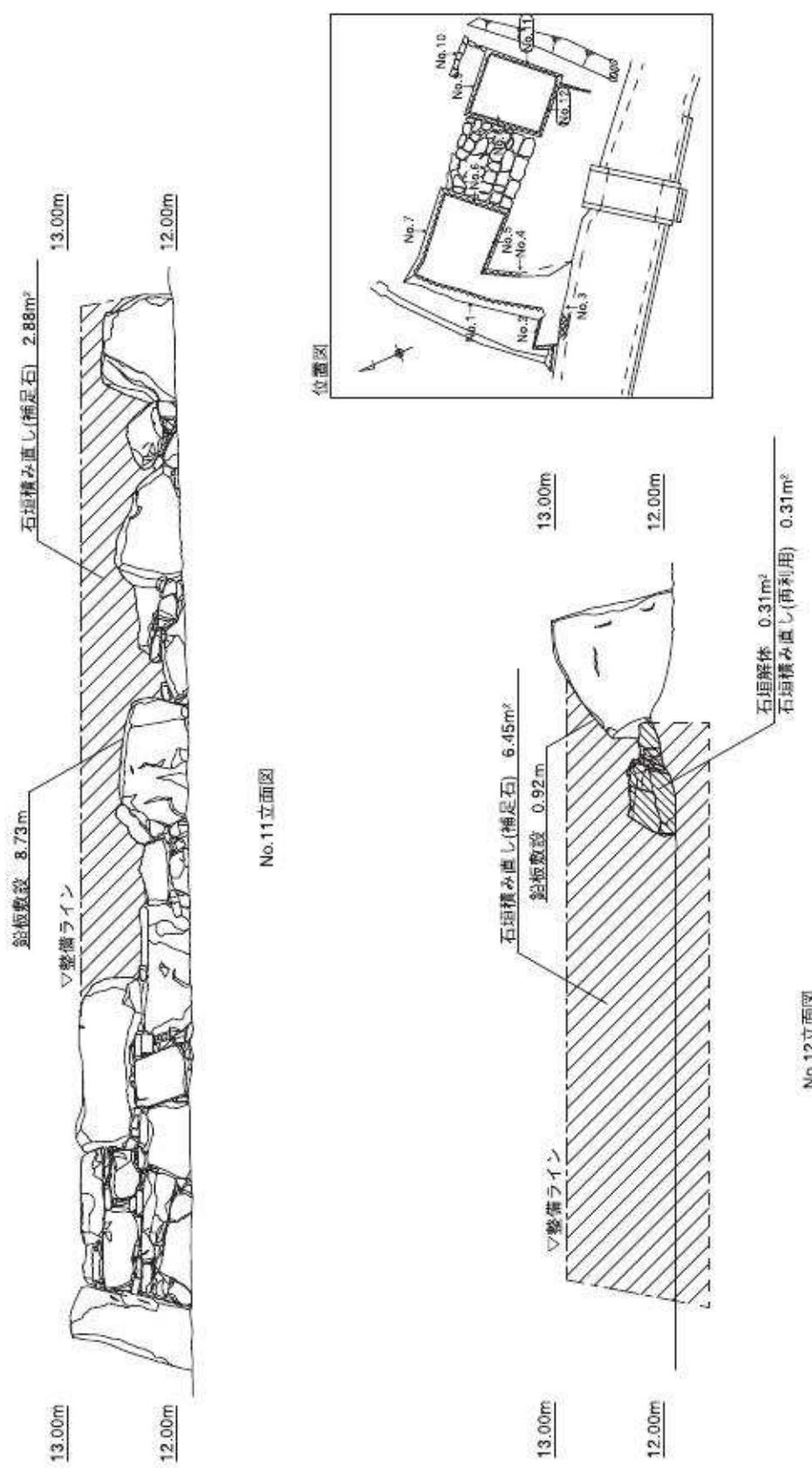


図17 摺手門櫓台石垣修理図 6 (S=1/60)

扇手門檻台(東側)平面図

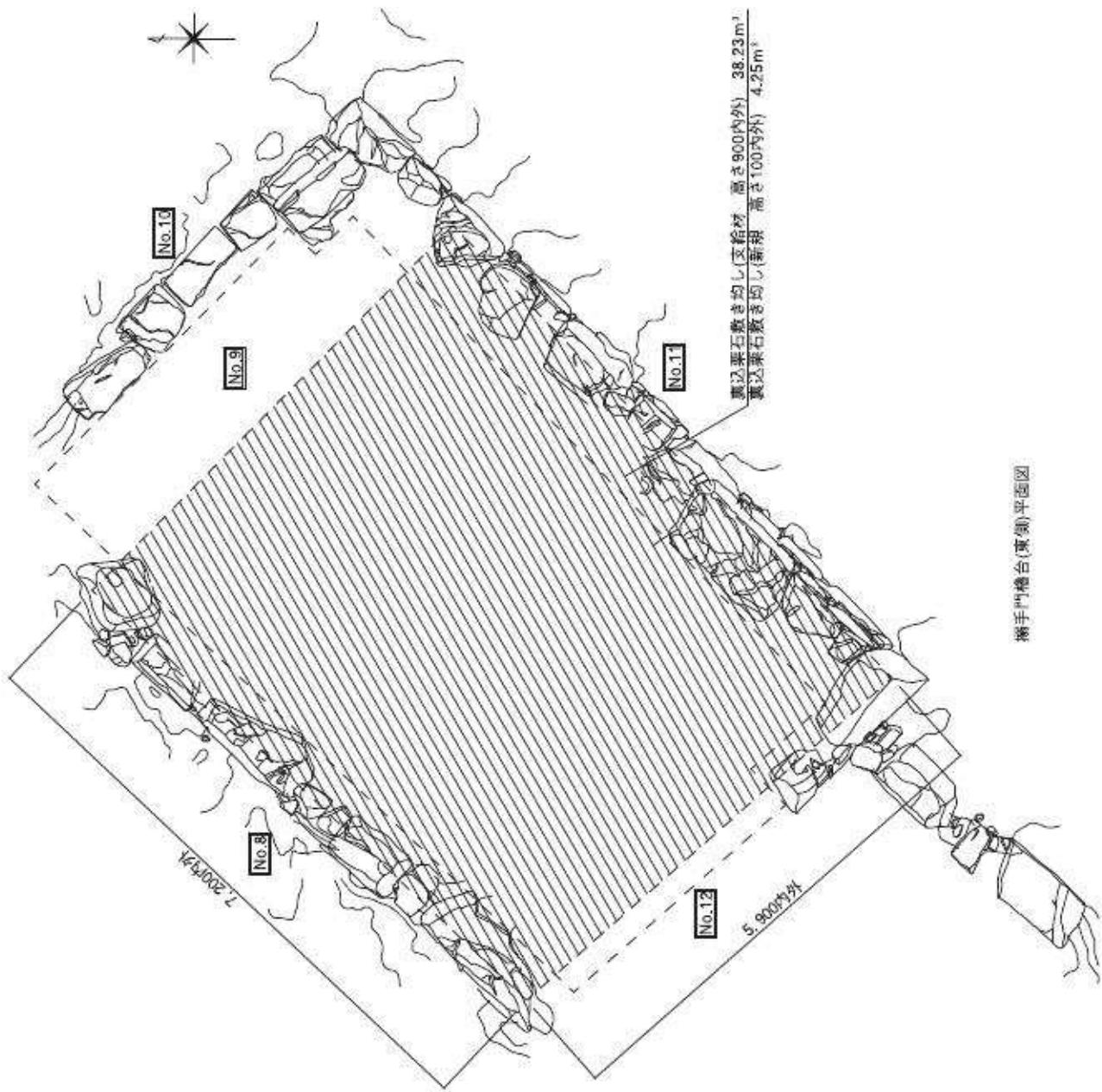


図18 扇手門檻台石垣修理図 7 (S=1/80)

第3項 景石等据え直し工事（図19～23）

景石や護岸石については、庭園の骨格を構成する要素として捉え、一石ごとに番号を付しながら詳細調査を行い、ア) 作庭当時から動いていないと思われる石材、イ) ほぼ原位置を留めているが、多少ズレ、傾き等がみられる石材、ウ) 作庭当時には無く近年持ち込まれた石材、に区分し、さらに、エ) 根石が残存したり、抜き取り穴などによりかつて石が据えられていたと思われる箇所を特定し、庭園の原形を定めることとした。

ア) 作庭当時から動いていないと思われる石材は、その位置で安定を図るものとした。イ) ほぼ原位置を留めているが、多少のズレ、傾き等が見られる石材や、エ) 景石・護岸がかかつてあったと思われる箇所は、周辺の動いていない景石・護岸石等とのバランスを考慮して、据え直した。なお、新規に据えた石材は、かつては心字池で使われていたと思われる石材が多数存在したため、これらを再利用するものとした。また、ウ) 近年持ち込まれたと思う石材は撤去し、形姿良好なものは護岸等に利用した。

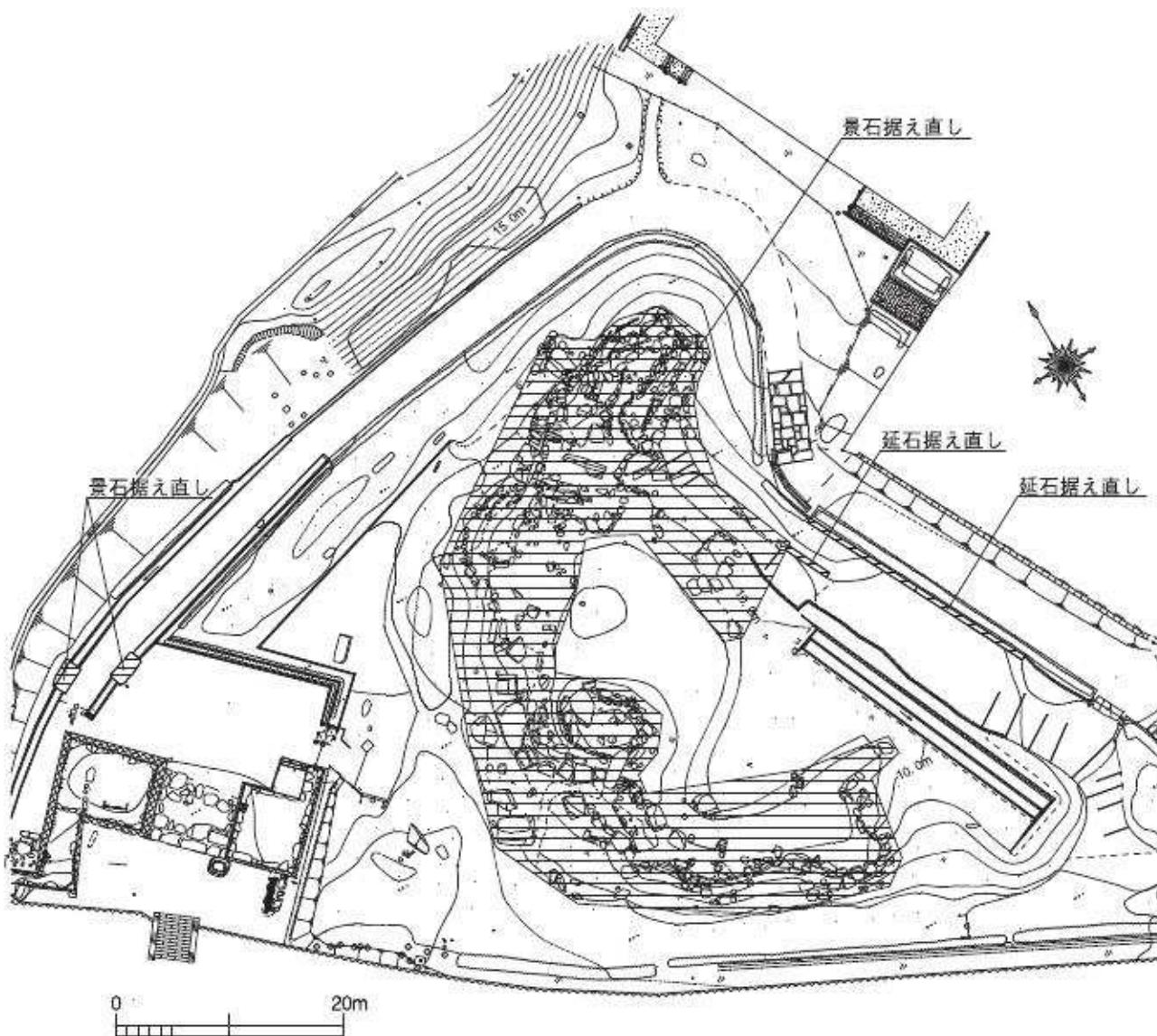


図19 景石等据え直し箇所図 (S=1/600)

単位：個

区分	1工区	2工区	3工区	4工区	合計
A : 10kg以下	2	0	2	0	4
B : 10kg超 50kg以下	87	112	142	100	441
C : 50kg超 100kg以下	59	73	93	56	281
D : 100kg超 300kg以下	80	85	54	79	298
E : 300kg超 500kg以下	19	26	8	34	87
F : 500kg超 1,000kg以下	22	29	15	34	100
G : 1,000kg超 1,500kg以下	5	8	6	15	34
H : 1,500kg超	18	13	6	34	71
合計	292	346	326	352	1316

表4 景石区分（重量）

単位：個

	A				B				C				D			
	合計	動	不動	下石	合計	動	不動	下石	合計	動	不動	下石	合計	動	不動	下石
1工区	2	2	0	0	87	83	2	2	59	52	5	2	80	69	10	1
2工区	0	0	0	0	112	95	6	11	73	57	11	5	85	53	27	5
3工区	2	2	0	0	142	130	8	4	93	87	3	3	54	35	13	6
4工区	0	0	0	0	100	87	4	9	62	59	1	2	80	66	12	2
合計	4	4	0	0	441	395	20	26	287	255	20	12	299	223	62	14

	E				F				G				H				石数
	合計	動	不動	下石													
1工区	19	14	5	0	22	10	12	0	5	3	2	0	18	4	14	0	292
2工区	26	19	5	2	29	10	19	0	8	3	5	0	13	3	10	0	346
3工区	8	4	4	0	15	11	4	0	6	3	3	0	6	2	4	0	326
4工区	35	22	10	3	31	23	8	0	13	6	7	0	31	8	22	1	352
合計	88	59	24	5	97	54	43	0	32	15	17	0	68	17	50	1	1316

表5 景石区分（動・不動石）

単位：個

	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
1工区	0	2	1	7	0	2	0	1	13
2工区	0	2	4	6	7	4	3	2	28
3工区	0	0	0	0	0	4	0	1	5
4工区	0	0	2	8	7	6	2	4	29
合計	0	4	7	21	14	16	5	8	75

表6 景石据え直し

単位：個

	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
新規据え直し	0	15	58	74	20	28	8	15	218

表7 景石新規据え直し

